

記者発表資料

(県 政)

いよいよ
今週末 8/25
開催！

滋賀県立美術館 開館 40 周年記念イベント
～20時まで夜間開館します！～

県立美術館は、2024年8月に開館40周年を迎えます。これを記念し、より多くの方に県立美術館に親んでいただくきっかけとなるよう、8月25日(日)に「美術館で夏祭り！ 朝から晩まで県美にどぼん！」を開催します。

一日を通して、アートやモノづくりの楽しさを体験できるワークショップを多数実施するほか、当日は20時まで夜間開館し(通常は17時閉館)、夜だからこそ楽しめるワークショップや野外ライブステージ、江州音頭、夜店などを展開します。

また、託児サービスや瀬田駅と美術館を結ぶ臨時バスの運行も実施し、より多くの皆様のご来館をお待ちしています。



※詳細は以下の県立美術館ホームページをご覧ください。

<https://www.shigamuseum.jp/40th-birthday-summer-festival/>

ナイトミュージアム(夜間開館)の実施

- 本イベントを含め、今年度以下のとおり、ナイトミュージアムの実施を予定しています。

企画	日付	内容
ビジネスパーソン向け夜の鑑賞プログラム	9/18(水)	ディレクター(館長)のレクチャーや対話鑑賞、学芸員による展覧会ツアー、参加者同士の交流会などを実施します。
滋賀レイクス試合開催日の夜間延長開館	10/19(土) 10/20(日)	滋賀ダイハツアリーナでの、滋賀レイクスの試合開催日に夜間延長開館を実施します。(試合観戦の有無に関わらず入館いただけます。)
滋賀のミュージアムと食文化体験モデルツアー	11/9(土) もしくは 11/16(土)	滋賀のミュージアムと食文化を体験していただくバスツアー。県立美術館には17時頃に到着し、閉館後の時間に、学芸員の解説付きで企画展をご覧ください。(ツアー実施：びわ湖大津観光協会) 【検討中のコース】 大津駅発 ⇒ MIHO MUSEUM ⇒ 県立美術館 ⇒ うなぎ料亭山重(夕食) ⇒ 石山寺 ⇒ 大津駅着

- 今年度、県立美術館で実施するナイトミュージアムは、「ナイトミュージアム KANSAI」（京都市京セラ美術館、京都府京都文化博物館、滋賀県立美術館、公益社団法人関西経済連合会、関西電力株式会社、西日本旅客鉄道株式会社で構成）の一環として実施します。
- 「ナイトミュージアム KANSAI」では、美術館・博物館相互の連携やネットワークの形成により、夜の時間帯における新たな価値創出や文化と経済の好循環の実現を図るため、経済界の関係機関とともに、美術館・博物館の夜間活用を、日本のナイトタイムエコノミーの中核コンテンツとして確立することを目指しています。
- 構成館3館の連携企画などについても、今後予定されています。

（参考）滋賀県立美術館の概要

- 1984年8月26日に滋賀県立近代美術館として開館しました。
- 日本画家の小倉遊亀（滋賀県大津市出身）や染織家の志村ふくみ（滋賀県近江八幡市出身）のコレクションは国内随一を誇っています。
- 開館以来の作品の収集方針は、「日本美術院を中心とした近代日本画」、「滋賀ゆかりの美術・工芸等」、「戦後のアメリカと日本を中心とした現代美術」です。
- 2016年には、日本国内の公立美術館として初めて、「アール・ブリュット」を収集方針の柱の一つに加えました。
- 2017年4月1日から、改修工事等のため長期休館しました（2023年6月26日まで）。
- 2021年1月1日付けで、現在のディレクター（館長）の保坂健二郎が就任しました（第13代）。
- 2021年4月1日付けで、時代や傾向を限定することになる「近代」を館名から外し、館名を滋賀県立美術館に変更しました。
- 2021年6月27日に再開館し、目指す姿として「リビングルームのような美術館」を掲げるとともに、「芸術文化の多様性を確認できるような作品」を収集方針の柱の一つに加えました。
- 2023年度末時点の収蔵件数は2,589件です（日本画・郷土 1,291件、現代美術 567件、アール・ブリュット 731件）。
- 2024年3月に「滋賀県立美術館魅力向上ビジョン」を取りまとめ、県立美術館の目指す姿として、「子どもも大人も来たくなる 未来をひらく美術館」を掲げました。